



戦乱のさなか、
万民の心を安らかに

「祇園精舎の鐘の声…」。
「平家物語」の冒頭の一節
で、「諸行無常の響きあり」
と続きます。「諸行無常」
がどのような響きであった
かは計り知れませんが、今
から、約800年前の平安
時代終わりから鎌倉時代の
初めごろにタイムスリップ
すると、その声が聞こえて
きます。

この時代は、「保元・平
治の乱」や「源平合戦」な
どの兵火に巻き込まれ、多
くの尊い命が失われまし
た。町は荒廃し、夜盗が横
行、人々の泣き叫ぶ声や嘆
き悲しむ声が「諸行無常」
の声となって鳴り響いてい
ました。

世の中の全てのものは移

色定法師と

中世博多貿易商人



ろい行き、形あるものは必
ず壊れてなくなってしまう
「諸行無常」。戦乱で何もか
も失い、打ちひしがれる万
民の心に耳を傾け、全ての
万民の心を安らかな気持ち
にしようと力を尽くした人
が、ここ宗像の地にいまし
た。

その人は、「色定法師」
と呼ばれ、平安時代の終わ
りごろ、平治元（1159）
年に宗像神社の社僧・兼祐
（けんゆう）の子として生
まれました。鎌倉時代の始
めごろの仁治3（1242）
年11月6日、84歳で亡くな
るまで、「諸行無常」の声
が鳴り響く時代を生きてき
たのです。

色定法師の偉業

色定法師は、子どもの



県指定文化財色定法師座像

ころは「良
祐（りょうゆ
う）」と名乗
り、宗像神社
の学頭（現在の学校長）・
良印（りょういん）の下で
修行しました。「法華経（ほ
けきょう）」を手にとれば、
その手が仏となり、口に唱
えれば、この口がすぐに仏
となる。天にある月が東の
端に昇れば、そのときその
影がすぐに水に映るよう
に法華経にふれる全てのもの
が仏になれる」という法華
経の教えも含め、「壇ノ浦
合戦」で平家が滅んだ2年
後の文治3（1187）年
4月1日、29歳の時に、全
ての経文（大蔵経）一切経
を一人で書き写す修行を始
めました。

この修行で、時の関白九
条兼実（かねみ）もとより、宗像神
社本家、宗像大宮司氏実（う
じさね）とその妻子、亡き
師匠・良印や祖父母、万民
に至るまでが、心の安らぎ
を持ち、来世は必ず極楽浄
土に行けるようにと願いま
した。

一切経の唐本（中国版）・
1716部5048巻を、
数人が書き写すことはあつ
ても、一人で書き写すこと
はあまりなく、色定法師は

春の特別展

「色定法師と日宋貿易」

- 内容 宗像神社の社僧であった色定法師の偉業と、それに深く関わった宋の貿易商人や日宋貿易で活発に海外との交易を実施していたむなかた地域の様子を紹介
- 期間 4月23日（火）～7月7日（日）
- 開館 9:00～18:00
- *月曜日（祝日の場合は翌平日）は休館
- 入場料 無料

海の道

むなかた館

SEA ROAD MUSEUM

古代のお米作りを学ぼう！

- 内容／日時（全4回）
- ①田植え／6月22日（土）
9:30～12:00
- ②草取り／8月10日（土）
9:00～11:00
- *荒天時は変更の場合あり
- ③稲刈り／11月初旬
- ④正月飾り作り・餅つき／12月中旬
- *③④の時間は未定
- 集合場所 海の道むなかた館
- 定員 20家族
- *原則、4回とも参加できる人
- 参加費 小学生以上1人2,000円
（材料費、田んぼ使用料含む）
- *別途、各実施日に昼食代（一般500円、小学生以下300円）必要
- 持参品 ビーチサンダルなど汚れてもよい靴、着替え、帽子、タオル
- 申込締切日 5月31日（金）
- 申込方法 海の道むなかた館へ次のいずれかの方法で申し込む
- ▽☎（62）2600
- ▽①住所②氏名③年齢を明記してFAX（62）2601
- ▽🌐http://searoad.city.munakata.lg.jp

問い合わせ先 海の道むなかた館（郷土文化交流課） ☎（62）2600

修行の願いが達成できるよ
うに、この経典を一人で、
42年かけて書き写したので

偉業を支えた商人
色定法師の偉業は、多く

す。そのほとんどが、現在
に残っているのが、大変貴
重です。

また、仁治2（1241）
年、色定法師の偉業達成を
称える「大日本国鎮西筑前
州宗像第一宮座主色定大法
師、一切経律一筆書写行人」
と記された彫像（色定法師
座像）が作られました。宗
像第一宮は、現在の宗像大
社辺津宮であり、色定法師
は、その僧侶の座首（僧
侶の最高位）であったこと
が分かります。

の人に支えられ成し遂げら
れたものでした。特に、経
典を書き写すために必要な
紙、筆や墨などは当時は高
額なもので、個人で調達す
るには経済的な支えが必要
不可欠でした。色定法師の
願掛けのうち、「万民に至
るまでが、心の安らぎを持
ち、来世は必ず極楽浄土に
行けるようになる」という
ものが、当時の中国の宋の
「綱首（こうしゅ）」貿易
商人「たち」に支持され、紙
を「張成（ちやうせい）」、
墨を「李榮（りえい）」と
いう人から寄進されたこと
が、「一筆一切経」の巻末
に記されています。これら

の商人は、博多を中心とし
た日宋貿易で巨万の富を
得、特に、「張氏」「李氏」
は宗像大宮司と深い関係が
あったと考えられます。

現在、宗像大社神宝館に
収蔵する「一筆一切経」4
342巻は、国指定重要文
化財です。「色定法師座像」
は県指定文化財で、色定法
師の偉業とともに大切に保
存されています。

（文化財職員・安部裕久）

問い合わせ先
郷土文化交流課
（海の道むなかた館）
☎（62）2600

片づける時間がな
お困りの方へ

遺品整理のお手伝いを致します



遠方もお任せ下さい！

〒807-0046
福岡県遠賀郡水巻町吉田西3丁目22-3

（社）遺品整理士認定協会認定 第ISO1211号
NPO法人 北九州遺品整理協会

☎0120-540-871

遺言・相続・老後の財産管理

安心を実感できる一生のプランニングが
必要ではありませんか？

いざという時のために支援してくれる方法を考えて準備
をしておく安心です。生活面、財産管理面の危機管理、
遺言作成のことや、認知症になったら？ひとり暮らしで病
気になったら？という疑問についてのご相談もお受けし
ます。老後の生活相談ということでお気軽にご予約くだ
さい。



遺言・相続

相談無料

自筆遺言の作成相談も

お気軽にどうぞ！

福地幸子行政書士事務所
宗像市光岡85-1旭ビル2F（国道3号沿い洋服の青山さん横）

TEL0940-34-8084